



# すずかけ



11月号 高松市立川東小学校

2025.10.31

## 校長だより



### 「読書について思うこと」



本校では3年前から学校図書館教育に関する県の研究発表会の会場校の指定を受け、図書や様々な情報からそれを活用できる力「情報活用能力」を育てる授業について研究を進めてまいりました。そして、10月30日(木)研究発表会を迎え、1、3、6年生の授業の中で、児童が今まで自分で得てきた情報を使って、みんなに伝える場面、お互いに考えを比較しながら考えを深め、話し合う場面など、様々な場面で学校図書館教育が提案している情報資源を活用している姿をご参会の先生方に見ていただくことができました。

高松市公式ホームページには毎月、教育長がコラムを掲載しています。10月は、読書について書かれていました。読書は大事だと言われていすし、大人は子どもに本を読んでほしいと思っています。以下はコラムの抜粋です。

なぜ、読書は大切なのでしょうか。文部科学省の「子どもの読書活動の推進に関する法律」によると、「子どもの読書活動は、子どもが言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、想像力を豊かなものとし、人生をより深く生きる力を身に付けていく上で欠くことのできないもの」とされています。また、

- 子どもの頃の読書量が多い人は、そうでない人よりも意識・非認知能力(テストでは数値化しにくい個人の内面的なスキルや特性のこと)が高い傾向がある。
- 上記のうち、本で読書している人が最も高い傾向がある。
- 読書活動は学力の向上に良い影響がある。(読書が好きか嫌いによって、全校学力テストの国語の平均正答率に17%の差がある。)
- 読書は言語活動を支える基礎である。



授業の一番大切な部分をしっかりと音読したり、書き写したりすることも学力に好影響を与えるようです。

私は娘(もう成人しているのですが)に、幼児期、就寝前の読み聞かせをしていました。毎日「今日はこれ」と選んで何回も持ってきていた本に「アップルパイをつくりましょ」(ブックローン出版)があります。先日、娘と本の話をしていたときに「あの本、好きだったなあ。」と二人で懐かしく思い出し、当時から蘇ってきました。本には心が温くなる思い出も作れる力があるのですね。

本校の学校図書館にも多くの本があります。「一緒に読む本を選んできて。」「おすすめの本を選んできて。」など声を掛けてあげてください。そして、ぜひ、お子さんと、今しか取れない貴重な時間を作ってあげてください。学校でも家庭でも、子どもが意図的に読書に親しめる環境を作っていければと思っています。



## とってもきれいになりました(クリーンタイム)

10/24(金)、児童、PTA、地域の方々と、運動場や正門付近の整備を行いました。当日は、朝早くからPTAや地域の方による、運動場周辺の草刈りが始まり、8時15分からは児童や教職員も参加して草抜きや落ち葉拾いを行うなど、日頃できないところをしっかりと整備することができました。

学校は、子どもたちが学ぶ場であると同時に、地域の皆様とのつながりの中で様々なことを学ぶ場でもあります。クリーンタイムの活動を通して「自分たちの学校を自分たちで大切に作る心」や「感謝の気持ち」「地域とのつながり」など大切な心を学ぶことができました。ご協力いただいた皆様、本当にありがとうございました。

